



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ニチバン株式会社

コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 酒井 寛規

TEL 03-5978-5601

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,297	1.3	364	△3.7	358	5.4	207	19.4
25年3月期第1四半期	9,178	0.7	379	△9.4	340	△13.8	173	△10.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 295百万円 (44.3%) 25年3月期第1四半期 204百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.00	—
25年3月期第1四半期	4.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	46,380	24,839	53.6	599.24
25年3月期	45,801	24,792	54.1	598.11

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 24,839百万円 25年3月期 24,792百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,500	3.4	800	6.5	750	4.5	420	2.7	10.13
通期	40,000	3.9	2,000	12.8	2,000	11.0	1,100	11.2	26.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	41,476,012 株	25年3月期	41,476,012 株
26年3月期1Q	24,952 株	25年3月期	24,952 株
26年3月期1Q	41,451,060 株	25年3月期1Q	41,453,368 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記の業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策等により、円安と株高基調で推移し、一部企業の業績に持ち直しの動きが見られるなど、景気回復の期待感が広がりましたが、新興国経済の減速や一部原材料価格の高騰の影響を受け、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなか、当グループでは中長期経営計画【NB100】Stage2がスタートし、これまでの2年間における増収増益基調回復への取組みを踏まえ、将来に向けた新たな成長戦略を確実に実行する取組みを行いました。その結果、売上高は92億9千7百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益は3億5千8百万円（前年同期比5.4%増）、四半期純利益は2億7百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

## メディカル事業本部

## (ヘルスケアフィールド)

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、テレビCMを始めとした消費者への告知と販売促進活動を積極的に行いました結果、救急絆創膏「ケアリーヴ<sup>®</sup>」シリーズを中心に売上は順調に推移いたしました。

## (医療材フィールド)

医療機関向け医療材料市場におきましては、感染予防・安全な処置に貢献する止血製品「インジェクションパッドマイルド<sup>®</sup>」とドレッシング製品「カテリープラス<sup>®</sup>」が引き続き好調に推移いたしました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、ヘルスケアフィールドと医療材フィールドを合わせたメディカル事業本部全体の売上高は32億2千5百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は5億4千9百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

## テープ事業本部

## (オフィスホームフィールド)

文具・事務用品市場におきましては、テープのり「tenori<sup>®</sup>はんこのり<sup>®</sup>」等のパーソナル向け製品が好評をいただくとともに、主力製品である「セロテープ<sup>®</sup>」を中心に売上は順調に推移いたしました。

## (工業品フィールド)

産業用テープ市場におきましては、主力の包装用テープは堅調に推移いたしました。が、特殊材料の分野における市場が低迷したために、全体の売上は非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、輸出につきましては円安の後押しとアジアを中心とする需要が復調してきたことにより、売上が前年実績を上回る結果となりました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、オフィスホームフィールドと工業品フィールドを合わせたテープ事業本部全体の売上高は60億7千1百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は4億4千6百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金とたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ5億7千9百万円増加し、463億8千万円となりました。また純資産は4千6百万円増加し、248億3千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は53.6%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2千7百万円（0.3%）増加し、99億7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ2億2千9百万円（25.3%）減少し、6億8千万円となりました。これは主にたな卸資産と法人税等の支払額が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ5千9百万円（14.7%）減少し、3億4千5百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ1千4百万円（5.0%）増加し、3億8百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、概ね予想通りに推移いたしました。今後の経営環境につきましては、石油製品を中心とする原材料価格、為替等の動向に不透明な要素も多く、厳しい状況が依然継続すると思われま

す。このような経営環境のなか、当グループは、平成30年に迎える「創立100周年」に向けた中長期経営計画【NB100】の戦略フレームである「企業品質向上」「基盤効率化・安定化」「成長追求」の3つの柱を基に戦略を推進いたします。Stage2の初年度に当たる平成26年3月期の取組みとして、生産性向上と利益管理の徹底による収益性基盤の構築に加え、将来に向けた新たな成長戦略を確実に実行いたします。

以上により、平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日の公表時点から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,653	9,808
受取手形及び売掛金	12,481	11,842
有価証券	506	506
商品及び製品	2,897	3,463
仕掛品	1,278	1,323
原材料及び貯蔵品	1,094	1,191
その他	818	813
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	28,727	28,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,416	5,411
その他(純額)	6,978	7,272
有形固定資産合計	12,395	12,684
無形固定資産		
投資その他の資産	232	227
固定資産合計	4,445	4,521
固定資産合計	17,073	17,433
資産合計	45,801	46,380
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,481	7,661
未払法人税等	333	138
賞与引当金	—	456
役員賞与引当金	64	17
その他	4,239	4,539
流動負債合計	12,119	12,813
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	3,199	3,088
役員退職慰労引当金	93	84
長期預り保証金	2,919	2,904
資産除去債務	92	92
その他	585	558
固定負債合計	8,889	8,727
負債合計	21,009	21,541

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,451	5,451
資本剰余金	4,186	4,186
利益剰余金	15,204	15,162
自己株式	△8	△8
株主資本合計	24,834	24,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	122
為替換算調整勘定	△150	△76
その他の包括利益累計額合計	△42	46
純資産合計	24,792	24,839
負債純資産合計	45,801	46,380



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,178	9,297
売上原価	6,543	6,669
売上総利益	2,634	2,628
販売費及び一般管理費	2,255	2,263
営業利益	379	364
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	5	21
その他	11	17
営業外収益合計	21	43
営業外費用		
支払利息	13	11
支払手数料	31	31
その他	15	6
営業外費用合計	60	49
経常利益	340	358
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	32	15
特別損失合計	32	15
税金等調整前四半期純利益	307	343
法人税等	134	135
少数株主損益調整前四半期純利益	173	207
四半期純利益	173	207

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	173	207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	13
持分法適用会社に対する持分相当額	35	74
その他の包括利益合計	31	88
四半期包括利益	204	295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204	295

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	307	343
減価償却費	407	423
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△88	△111
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
有形固定資産除売却損益(△は益)	4	12
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	13	11
売上債権の増減額(△は増加)	549	638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△364	△707
仕入債務の増減額(△は減少)	△35	180
その他	285	239
小計	1,066	1,016
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△18	△15
法人税等の支払額	△142	△324
営業活動によるキャッシュ・フロー	909	680
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△316	△242
定期預金の払戻による収入	316	114
有形固定資産の取得による支出	△401	△206
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△3	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△345
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,000	—
配当金の支払額	△248	△248
その他	△44	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△293	△308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	207	27
現金及び現金同等物の期首残高	10,245	9,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,453	9,907

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,088	6,089	9,178	—	9,178
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	18	31	△31	—
計	3,101	6,108	9,209	△31	9,178
セグメント利益	547	514	1,061	△682	379

(注) 1. セグメント利益の調整額682百万円には、セグメント間取引消去31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用650百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,225	6,071	9,297	—	9,297
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	18	35	△35	—
計	3,242	6,090	9,332	△35	9,297
セグメント利益	549	446	996	△631	364

(注) 1. セグメント利益の調整額631百万円には、セグメント間取引消去35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用596百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。